



画：ブライアン・ウィリアムズ／「田ごとの花見」 曲面水彩画

第66期 中間報告書

令和元年7月1日 ▶ 令和元年12月31日

TOP MESSAGE

工事紹介

- 土木部門工事紹介
- 建築部門工事紹介

TOPICS

- 「滋賀県優良工事表彰」ダブル受賞
- 「建設マスター」受賞
- 「くるみん2019」認定

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社第66期第2四半期累計期間(令和元年7月1日から令和元年12月31日まで)の事業活動が終了いたしましたので、活動内容のご報告をさせていただきます。

令和2年1月6日の初出式において、私は「三東工業社SDGs宣言」を行いました。これは、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、達成に貢献する事業活動を積極的に推進するものです。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択され「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。この目標は17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っております。昨今、各方面で注目され、関心をお持ちの株主さまも多いかと思いますが、当社では策定後の早い段階から注目しており、自分たちでも何かできることがないかと模索してまいりました。「工事紹介」や新聞掲載記事で紹介しております女性や外国人の活用も、SDGsの目標達成に貢献する事業活動の一環であります。今後も持続可能な社会を構築するためSDGsの達成に貢献する事業活動を積極的にご報告してまいります。

このように、持続可能な社会を構築する事業に取り組むことで、創業100周年に向けて持続可能な会社経営を行っていく所存であります。

なお、利益配分につきましては業績に応じた配分を基本とし、株主のみなさまへの安定的な利益還元と経営体質の強化を重要な経営方針の一つとして位置づけ、今後の事業展開などを勘案して決定することとしております。当期末におきましては、1株につき40円の配当金を予想し、業績予想の必達に全社一丸となってまい進してまいります。

みなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

令和2年3月

株式会社 三東工業社
代表取締役社長 奥田克実

中堅ゼネコン、アジアから人材

▽…滋賀県地盤の中堅ゼネコン、三東工業社はベトナムからの新卒採用を始めた。ハノイ土木大学などの卒業生らで、2020年4月入社予定も含めて6人。奥田克実社長は「人材不足は深刻で、地方の中小の生き残り策としてアジアの人材に目を向けた」と話す。
▽…専門・技術人材として就労ビザを取り、すでに男女4人が現場監督として活躍する。給与など待遇は日本人社員と同じだ。「日本の技術を学び、将来、帰国する際には出資や技術供与などでベトナムでの起業を支援したい」とアジアへの事業展開も見据える。



三東工業社
奥田社長

新卒採用、現場監督に

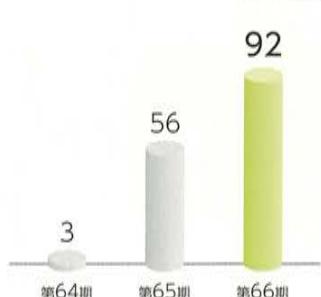
2019年(令和元年)11月18日(月)日本経済新聞 朝刊
7面 新興・中堅Biz「中堅ゼネコン、アジアから人材」

第2四半期累計期間財務ハイライト

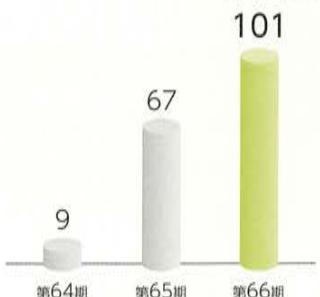
| 売上高 | 2,920百万円 |
|----------|----------|
| (単位：百万円) | |



| 営業利益 | 92百万円 |
|----------|-------|
| (単位：百万円) | |



| 経常利益 | 101百万円 |
|----------|--------|
| (単位：百万円) | |



| 1株当たり四半期純利益 | 93.26円 |
|-------------|--------|
| (単位：円) | |



工事紹介

土木部門

金勝川広域河川改修工事

■発注者：滋賀県南部土木事務所 ■工期：平成31年1月9日～令和2年1月17日 ■場所：滋賀県栗東市目川地先
■概要：サイホン工事 ϕ 1,000mm 延長 L=70.70m 地盤改良工 1式 マンホール 4箇所
余水吐柵門工(プレキャスト函体) L=10.88m 取付水路工 L=14.5m 鋼製ゲート 5基

当工区は、平成25年の台風18号により金勝川堤防が決壊し甚大な災害が発生した場所でした。そのため地元の方も非常に神経質になっておられましたが、地元への報告・連絡・説明を丁寧に行うことでご協力とご理解をいただくことができ、工事の中止もなく無事故で竣工いたしました。

工事については、立坑・地盤改良・サイホン工事(泥水式推進工法)を完了した後、既設水路を活かした状態での施工となり施工方法が難しかったのですが、余水吐柵門工を設計変更協議で仮締切り、湧水のある砂地盤でも土砂崩壊なく施工でき、品質の良いコンクリート構造物を構築することができました。また、当工区は週休2日チャレンジ型工事*でしたが100%達成することができました。建設ディレクターチームの女性職員による日々のサポートのおかげで協議・提出書類作成もスムーズにこなすことができ、働き方改革の視点からも当社が大きく進歩した工事となりました。

*週休2日チャレンジ型工事：

建設産業においても、ワーク・ライフ・バランスを促進し誰もが働きやすい職場環境づくりを目指すため、国土交通省が進めている完全週休2日制を採用できる工事のこと。



現場代理人・監理技術者
小林 浩二
(土木工事部 工事長)



現場担当者
川島 夕佳
(建設ディレクターチーム)

日本へ来て一年半ぐらい経ちました。それは長いと言えないんですけどいろいろな経験しています。ベトナムにいた時からテレビやインターネットで、日本は科学技術が非常に進んでいて景色がきれいな国と知っていました。子供のころから日本のアニメが大好きで、夢は大きくなつていつか日本に行くことでした。今は小さい頃の夢が現実になりうれしいです。そして日本の生活、文化、伝統を体験することは、仕事と同じように重要であると思います。生活は、日本に来てから会社の先輩が手伝ってくれたり、一緒に買い物に行ったりして教えてくれたおかげで今は問題ありません。休みの日には日本のきれいなところを私達と一緒に観光したり美味しい料理を楽しませてくれました。日本の伝統文化、生け花や茶道、着物などを体験しました。私の家族にその写真を見せて日本のこと話をしたら、みんなは私のことを安心してくれました。

仕事については、3Dモデルを描いて現場を手伝うのが私の仕事です。3Dモデルがあると職人さんが現場のでき上がった形をイメージしやすいので役に立ててうれしいです。また、現場代理人の先輩に専門の言葉や施工技術などを教えてもらってきたから勉強できました。現場で働くことは大変ですがとても面白いと思います。まだ知らないことがたくさんあるので、私はもっと頑張って勉強したいです。

土木部門

歌舞伎町地区開発計画

■発注者：東京急行電鉄株式会社 ■元請業者：清水建設・東急建設共同企業体 ■工期：令和元年8月～令和元年10月(当社施工部分)
■場所：東京都新宿区 ■概要：TRD施工部分 1,799m³ 深度 36m

このプロジェクトは、商業施設・文化施設を集めた多様な魅力を備え、回遊性のある観光・交流拠点を形成して、まちの回遊とにぎわい創出を図ることを目指して進められているものです。この工事では、当社のTRD機にて地下部分に地中連続壁*の造成を行いました。

そしてこの工事が終わったころに「建設マスター」受賞([TOPICS]掲載)の知らせが届きました。今まで社業に励んできたことが評価され、大変うれしく思うとともに、日本の未来づくりにお役に立つことができたという、うれしさも一層強く感じます。今後も当社の得意技術をさらに発展させて継承し、日本と建設業の明るい未来を築いていけるよう、日々まい進してまいりたいと思います。

*地中連続壁：地中に造成する連続したコンクリート壁のこと



現場代理人
橋 茂生
(地下技術工事部 主任)

建築部門

J.A栗東市金勝支店新築工事

■発注者：栗東市農業協同組合 ■工期：平成31年2月1日～令和2年3月31日 ■場所：滋賀県栗東市御園地先 ■設計監理：株式会社織田建築設計室
■概要：木造平屋建(在来工法) 延床面積 383.35m²

この建物の一番の特徴は、施工場所の地元である滋賀県栗東市金勝で産出された木材を使用していることです。その木材は早い段階からお施工さまご自身で調達されました。工事については材料納期の工程管理や数量管理等の調整に苦労し、意匠プランも「木」を表面に使用した仕上げが多いため細やかな作業が必要で、大工さんと施工協議を慎重に重ねて進めてきました。また、この現場では、紹介しておりますようにベトナムから来日した社員が携わっており、彼女にとって初めての現場で監督業を学びながら木造建築にも関わることができます。大変貴重な経験となりました。その業務の中で、様々な完成イメージのパース*を作製してお施主さまに提案することで、ご満足いただけた建物が提供できることをうれしく思います。

今注目を集める木造建築ですが、今後滋賀県の木材が多く、広く使われることで森林業が盛んになり、そのことで琵琶湖の環境がより良くなることを願ってやみません。

*パース：建物の外観や室内を立体的な絵にしたもの



現場代理人
立入 天博
(建築工事部 工事主任(本事業担当))



現場担当者
ルオン ティ ズン
(建築工事部)

現在は建築部に配属され、主に建設現場の施工管理をしています。実際に現場に出て施工写真を撮ったり測量業務の補助的な仕事をしたり、「パース」の作製や施工図などを描いています。日本に来て1年が経ち、日本語の勉強をずっと続けていますが、専門用語や施工図面の文字など全てが初めてでまだ慣れて大変苦労しました。けれど、特にこの現場は木造新築工事のため学べることが多くて、上司や先輩から、分からないことがあれば優しく丁寧に教えてくださるので助かります。私はまだ勉強が必要だなと思いました。

私は日本人の美的感覚がいいという印象が強いです。滋賀県にある、美しくて古いお寺や神社など雄大な自然の中に建てられた建物に連れて行っていただいた時、その美しさに非常に感動しました。

また、日本に住んでから、日本人の優れた資質を学べる事が多いと気づきました。日本人の優れている点は、ホスピタリティと向上心そして責任感だと思います。日本人の人たちは、繊細で細やかな特徴を持っていると思います。布団のたたみ方から、箸のおき方、挨拶の仕方、髪型を気にすることなどがそう感じます。これからももっと仕事を頑張りたいですが、それだけでなくて休日には日本の美しい風景を楽しみたいと思います。

TOPICS

「滋賀県優良工事表彰」ダブル受賞

★蒲生日野ライン管路更新工事

★日野ライン松尾工区管路更新工事

第23回「滋賀県優良工事表彰」において当社が2件の優秀賞に輝きました。これらの工事は偶然施工箇所が近接しておりましたので、それを活かして双方の無駄をなくし、両方の職員がアイディアを出し合いながら完成した工事でした。特に日野ライン松尾工区については、計画変更も多々あったため多くの困難もありました。結果的には工事成績が良かっただけではなく、工期を4か月も短縮したり、台風による災害復旧のお手伝いを行うなど、地元への貢献もできたことを大変うれしく思います。

これからもこの受賞を励みに県内インフラ整備に力を注ぎ、安心で住みやすい街づくりにまい進してまいります。



「建設マスター」受賞

「建設マスター」という名称をご存じでしょうか? 「建設マスター」とは「優秀施工者」の通称で、建設工事に直接携わり、技術・技能が優れているとともに、常に技術開発・施工の合理化、後進の指導・育成に努めるなど、工事施工に関して総合的な能力を有している従事者のことです。「建設マスター」と称されているのは、「マスター」の意味に由来し、建設工事における名人・親方・師匠・熟練者という意味です。この「マスター」として、当社地下技術工事部 主任 橋 茂生が国土交通大臣より顕彰されました。

今後も当社から多くのマスターを輩出し、優れた施工ができるよう、人材育成にますます力を入れ、建設業と日本の明るい未来に貢献してまいります。



「くるみん2019」認定

くるみん認定とは、仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる企業を「子育てサポート企業」として厚生労働省が認定する制度です。当社では男性職員の育児休暇取得、乳幼児を持つ職員のサポートなどに取り組み、今回の認定をいただくこととなりました。

当社はこれにとどまらず、すべての人に働きやすい職場環境を提供し、ワークライフバランス社会の実現に向けてこれからも積極的に取り組んでまいります。



株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

定期株主総会 每年9月

基準日 定時株主総会 每年6月30日
期末配当 每年6月30日
中間配当を行う場合 12月31日
その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

インターネット
ホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場金融商品取引所 東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

当社ホームページのご案内



当社のホームページをぜひご覧ください。
企業情報や財務情報についての情報公開を随時行っております。
また、みなさまからのご意見・ご照会もお待ちしております。

<http://www.santo.co.jp>

表紙絵画に寄せて

平地の極めて少ない日本では、山地にも水田を作ってきた。斜面に沿ってそれらは美しい形の棚田となった。湖西の里山仰木にはその姿の一部が残っている。田植え前、水がはられて、畔に桜が咲いて、遠くに琵琶湖が見下ろせる。正しく日本の原風景がここにある!

by Brian Williams
ブライアン・ウィリアムズ オフィシャルサイト
<http://www.brianwilliamsart.com>

